

# 千鳥丘中新校則について

## 1. 目的

- ・ 「多様化」する時代ニーズへの対応
- ・ 「主体性」を重視した学校づくり

## 2. 新校則のコンセプト

自分の力で未来を切り拓ける人間になろう

～「主体性」と「多様性」を大切にした学校づくり～

## 3. 具体的な校則 ※生徒手帳より抜粋

### 【制服】

#### ① プレザー

- ・ 学校指定のプレザーを着用する。
- ・ 前合わせは「スイッチモデル」であるため、自ら選択する。
- ・ 学校指定のボタンを付ける。

#### ② ボトムス

- ・ 学校指定のスラックス、スカートのいずれかを選択する。
- ・ ベルトをする際には、制服と合わせて着用するにふさわしいものを使用する。
- ・ スラックス着用の際は必ずベルトを使用する。

#### ③ シャツ類

- ・ 長袖のシャツ類については、無地の白色ニットシャツ（カッターシャツ）または無地の白色ポロシャツを使用する。  
※ 長袖ポロシャツは学校推奨品あり
- ・ 半袖のシャツについては、学校指定の半袖ポロシャツ（襟裏紺色）を使用する。
- ・ シャツ類の前合わせは左右を問わない。

#### ④ 肌着

- ・ 制服からはみ出ないものを着用する。
- ・ 肌着は必ず着用すること。

#### ⑤ 靴下

- ・ 登下校や体育の授業等、活動に適したものを着用する。
- ・ 防寒目的で、タイツやストッキング等を着用してもよい。

#### ⑥ 体操服

- ・ 体操服も制服と同様に扱い、学校生活で着用してもよい。ただし、運動後は更衣できるように、必ず制服か体操服の着替えを用意する。

## ⑦ その他

- ・ 衣替え期間は設けず、気温等を考慮して、制服を選択する。
- ・ 式日や行事日等に制服を指定することもあるため、半袖シャツとブレザーを必ず用意する。
- ・ 校内では一番上に着ている服に学校指定の名札を着用する。ただし、名札は学校保管とする。
- ・ 旧制服を着用の際は、令和2年度までのきまりを参考に、主体的に判断する。なお、新制服と併用してもよい。※令和5年度までを目途とする

### 【はきもの】

- ・ 上ばきは学校指定のものを着用する。 ★令和4年度より形変更
- ・ 下ばきは登下校や体育の授業等、活動に適した運動靴を使用する。雨天時は長靴を使用してもよい。

### 【防寒具】

- ・ コートをはじめとする防寒具は制服と調和し、安全なものを着用する。また、自分のロッカーに収まるものとする。
  - ・ ブレザーの内側に着る防寒具は制服と調和する華美でないものとする。また、フード等がブレザーの上に出ないものとする。
- ※ 防寒具については、制服を最大限活用しても寒い場合のみ、着用する。また、校内では一番上に制服を着用する。
- ・ 手袋やマフラーなどその他の防寒具も着用してもよい。ただし、制服と調和する華美でないものとする。

### 【通学カバン】

- ・ 登下校中のカバンは、学校指定の千鳥バックを使用する。
- ・ 千鳥バックに用具が入りきらないときのみ、スポーツバッグ等を使用してもよい。

### 【頭髪】

- ・ 活動に適した、清潔感のある頭髪にする。

### 【持ち物】

- ・ 金銭等の貴重品や学校生活に不必要なものは持ってこない。
- ・ 自分のものには必ず記名し、自己管理を徹底する。